

◆シアトルでの生活◆ 岩見沢校 書専攻3年 折目帆香

私がこのプログラムに参加した第一の理由は視野を広げたかったからです。

普段は岩見沢校で書道を専攻している私は、書道を目一杯学ぶことができる今の環境に満足していませんが、書道のことしか頭にない自分に憤りを感じていました。

海外に行けば何か変わるかもしれない、そんな単純な理由でこのプログラムに参加しました。

このプログラムは3週間をアメリカのシアトルで過ごします。シアトルにはワシントン大学というとても大きく、有名な大学があり、私たちはこの大学で英語を学びます。プログラムには教育大学の他に早稲田大学、明治大学などから来た学生が参加していました。ほとんどが日本人でしたが、中国、韓国、台湾、ロシアから来ている人たちもおり年代も様々でした。

登校初日にリスニングテストと面接が行われ、その結果によってクラスが分けられました。次の日からは早速クラスに分かれて授業が始まり、月曜日から金曜日の9時半から12時まで毎日授業がありました。授業は当然ですが全て英語で行われます。座学はほとんどなくグループに分かれてディスカッションをすることが多かったです。

私のクラスには日本人の他に韓国人、台湾人、中国人の人たちがいたため、ディスカッションの際に英語ではなかなか自分の考えを表現することが難しく、その度にもどかしさを感じていました。しかし、ディスカッションの際には他国と日本の違いに驚かされることが多く日々視野が広がっていくことを感じました。普段の授業の他に3人から4人のグループに分かれ、最終課題を出されました。その課題の内容はグループでテーマを設定し、自分の国とアメリカとの違いを見つけ、発表するというものです。違いを明らかにするためにテーマに関する質問を10個以上作り、現地の大学にいる生徒や道ゆく人たちにインタビューをしなければいけませんでした。質問を作る際は先生方に何度も添削をしていただきました。文法としては間違えではなくともネイティブの人達には伝わりにくい表現があったり、質問文が完璧でも発音をしっかりしなければ聞き取ってもらえなかったり、様々な苦労がありましたがどの経験も勉強になることばかりでした。

午前の授業が終わった後にはアクティビティに参加しました。アクティビティではシアトルの観光名所を巡りました。ダウンタウンにはスターバックス第一号店があり、日本のスターバックスとはデザインが違い新鮮でした。また、お店の中は活気が溢れており、店員さんもみなさん親切かつフレンドリーでした。スターバックスに限らずシアトルの店員さんは日本よりは全体的にラフな感じはありますが、気軽に挨拶をしてくれたり、「How are you?」「Have a good day!」などと声を掛けてくれます。日本人の丁寧な対応や接客は素晴らしく私たちが誇りに思えることではありますが、やはり少し活気に欠けてしまっているのではないかな、とシアトルに来て思いました。



*スターバックス第1号店



*チーズケーキファクトリーにて

週末にはバスに乗ってカナダのバンクーバーにも訪れました。シアトルから 4 時間弱でカナダに到着しました。カナダはあいにくの雨でしたがガスタウンやバンクーバー水族館に行くことができました。水族館には日本で見られない魚や生き物が多くいてどれも魅力的でした。海や山の景色もきれいでした。またカナダには日本人が多くおり、お店に入っても店員さんが日本人であることが多いため買い物がしやすかったです。(英語の学習にはなりません…)ただ、カナダは治安があまり良くなかったので週末にカナダへ行く際は大人数で行くこと、夜遅い時間には出歩かないことをおすすめします。



*ガスタウン



*バンクーバーの海



*水族館にて

登校日最終日は卒業セレモニーを行いました。軽食やケーキが用意され、クラスの担任の先生から最終課題の成績とクラス写真が手渡されました。私は、このプログラムでお世話になった先生方に書道の作品をプレゼントしました。面接の際に、私が書道専攻だと言っていたことを覚えて下さった先生もおり、たいへん喜んでくれました。決して書道が特技だとは言えませんが、普段一生懸命学んでいることをこの地で活かすことができるととても嬉しかったです。

3週間はとても忙しく課題に追われる日々も多くありましたが、毎日新しい発見があり刺激的でした。日本では経験できないようなことばかりで毎日が充実していて幸せでした。異国の地では、当たり前ですが分からないことばかりです。しかし、分からないことがあるからこそ誰かに聞くことができます。英語が下手でもうまく伝えられなくても現地の人達は優しく対応してくれます。一生懸命、私たちの英語を聞き取ってくれようとしてくれます。このプログラムへの参加を決めている方は、「怖がらず誰かに話し掛けること」や「分からないことは素直に聞くこと」を意識して下さい。プログラムへの参加を迷っている方、一步踏み出してみませんか。日本では経験できない素敵なことがシアトルで待っていますよ。



*卒業セレモニーにて



*教育大のみんなと



*大学の校舎(一部)